

図書館で調べよう!

～入門編 その2～



「入門編」では、辞書・事典類を紹介しましたが、参考資料にはまだまだ役立つものがたくさんあります。そこで「その2」として、便覧・図鑑・年表などを紹介していきたいと思います。

【凡例】

- ★ () 内は本の背についているラベル。置いてある場所を示しています。
- ★ ラベルに“R”がついている、または“館内”というシールが貼られている本は貸出できません。館内をご利用ください。
- ★ 貸出できない本でも、必要な部分のコピーはできます (1枚…10円)。

1 便覧

便覧とは、実用性に富み、統計的数値・実例・諸表・図・挿絵などを豊富に用いて、ある分野の用語や事項を解説したものです。他にはハンドブック、ガイドブック、マニュアル、データブック、要覧、必携などと呼ばれたりもします。各分野に様々な便覧がありますが、その中でも特に調べものをする時に役立つような資料を紹介します。

* 『理科年表 机上版』国立天文台／編 丸善出版 (R403/リ)

暦、天文、気象、物理／化学、地学、生物、環境の7部からなり、理科の様々な分野における数値・図表・統計などが載っています。数字ばかりで難しそうと思うかもしれませんが、実は学校の教科書や地図帳なども、この理科年表のデータが使われています。今年は何月何日が日曜日? (暦部)、日本の主な気象災害 (気象部)、世界で一番長い川は? (地学部)、日本人の平均的な体は? (生物部) などがわかります。また附録には、ノーベル賞受賞者や、数学の公式なども載っています。

* 『日本史総覧 机上版』新人物往来社 (R210.03/ニ)

歴史上の図・表・データなどを見ることができます。もっと詳しく知りたい時には、全9巻で時代別にわかれているものもあります。

2 図鑑

図鑑は、一般の書架にもたくさん並んでいますが、ここでは児童向けのものを紹介します。見やすくわかりやすく作られていて、貸出できるものが多いのでおすすめです。

* 『原色ワイド図鑑』全 20 巻＋総索引 学研 (03/ケ)

昆虫、動物、恐竜、鳥、魚・貝、人体、飼育、野草、花、樹木、栽培、天体、地球、科学などにわかれています。それぞれの巻末にも索引はありますが、調べるときには 21 巻の総索引から引きます。総索引以外は貸出ができます。

この他児童書のそれぞれの分類棚にも、学研・小学館・フレーベル館などで出版されている図鑑があります。

例) 地球・気象・恐竜→45 植物→47
動物→48 昆虫→48.6 体→49 など

3 年表

年表は色々な出来事を年代順に配列し、一覧できるものをいいます。

* 『世界史年表』岩波書店 (R203/セ)

見開きの 2 ページで、東アジア・日本、南アジア・東南アジア、西アジア・アフリカ、ヨーロッパ・ロシア、南北アメリカ・国際関係での出来事が一覧できるようになっています。

* 『日本史総合年表』吉川弘文館 (R210.03/ニ)

旧石器時代から 2019 年までの政治・経済、社会・文化全般にわたる項目を収録しており、国外の重要な事項も載せてあるので、日本史と世界史を比較しながら見ることができます。巻末には典拠一覧・索引もあり、『国史大辞典』(R210.03/コ)にある項目には印がついているので、詳しく知りたい時にはこちらを参照することもできます。さらに最後には備要として、天皇系図・江戸幕府将軍一覧・歴代内閣一覧などの資料もついています。

* 『読める年表 日本史』自由国民社 (210.03/ヨ)

これは、上記のものとは違い、数年を 1 ブロックにして特色・トピックス・人物紹介・事件史などを新聞のように読めるものになっています。こちらは貸出もできます。

また、長野県内の年表は、『長野県歴史大年表』全 2 巻 郷土出版社 (N203/ナ) があります。1987 年の出版で少し古いですが、貸出もできます。

4 年 鑑

年鑑とは、毎年1回ずつ継続的に発行される逐次刊行物で、統計・資料・図解などによってその年のトピックスについて解説しているものです。政府の各省庁から出される年次報告書である「白書」もこれにあたります。一般的なものから専門的なものまで様々なので、それぞれ少しずつ紹介します。年鑑を使うときは、タイトルの「〇年版」と実際の内容の年月にずれがあるかもしれないので、注意が必要です。最新版以外のものは書庫にあるので、ご覧になりたい方はカウンターにお問い合わせください。

* 『信毎年鑑』 信濃毎日新聞社 (N059/シ)

一年間の国内外・県内での出来事や、政治・経済、社会・文化、スポーツなどの各分野の動向、各市町村の情報、統計、事業所要覧、人名録、便覧などから構成されています。 ※『信毎年鑑』は平成21年版を最後に休刊となっています。

* 『美術年鑑』 美術年鑑社 (R705/ヒ)

受賞作家のほか、日本画家・洋画家・彫刻家・工芸家・書家・古美術にわけた作品と作家の紹介がされており、索引もついています。また、美術界の動向や、美術関係物故者、美術館・博物館一覧などの資料もあります。

* 『労働経済白書』 厚生労働省／編 (R366/ロ)

労働と経済に関する動向が、統計データや図表とともに解説されているもので、厚生労働省が編集しています。例えば、仕事の満足度指数とその理由や、フリーターの数などを見ることができます。図表、統計表の索引もついています。

* 『日本国勢図会』 矢野恒太記念会 (R351/ニ)

日本の社会・経済情勢を表とグラフで分かりやすく解説したデータブック。姉妹版として、『世界国勢図会』(R350/セ)も出版されています。

また、県内の企業について調べる場合には、次のような資料があります。

『長野県会社年鑑』 東京商工リサーチ長野支店 (N335/ナ)

『長野県建設年鑑』 新建新聞社 (N510/ナ)

最新のものは、2階カウンター内にあり、館内閲覧となります。『会社年鑑』は、最新のものの以外は貸出ができます。

統計に関連してもう一つ資料を紹介します。

* 『統計図表レファレンス事典』 シリーズ 日外アソシエーツ

色々な統計図表をキーワードから検索できる索引です。必要とするデータがどの刊行物に掲載されているか、作成機関はどこか、どんな内容の統計かなどがわかります。

5 地図帳

地図帳は、地図を中心として編集されているものですが、地図だけではなく付録資料が添えられ、地理便覧のような性格を備えたものも多いです。参考図書の地図帳は、他に比べて大きいので、長野図書館では2階参考図書④の棚の向かって左側（医学・工業）の下段に「大型地図」と表示して置いてあるのでご注意下さい。

* 『世界大地図帳』 平凡社 (R290.3/セ)

世界全図と、アジア・日本・ヨーロッパ・アフリカ・アメリカなどに向け、世界各国の地図を編集しています。世界の主要都市については別に地図と各国の情勢が解説されています。また、巻末には和文索引、欧文索引、中国・朝鮮索引などがあります。

* 『平成大合併 日本新地図』 小学館 (R291.03/へ)

平成の大合併で変わった新旧市町村名が併記されている地図です。各県別に基本データや特産物、歴史、人物などが書かれています。また、ふるさとのすし・日本の世界遺産といった地図もあります。

* 『世界史アトラス』 集英社 (R203/セ)

歴史地図帳と呼ばれているもので、大きく年代別と地域別に分けて構成されています。世界史を豊富な地図と写真、図で解説したものです。

* 『なるほど知図帳』 シリーズ 昭文社 (290～291.9)

世界、日本、県別で何冊か出版されていて、その地域の情報が盛りだくさんの地図帳です。読み物として楽しめ、貸出もできます。ちなみに長野のものは2階郷土資料 N299 の棚にあります。

6 最後に…

皆さんが調べたいことは様々で、一概にこうすればいいというやり方を説明するのはなかなか難しいですが、少しでもお役に立てればと思っています。

ここで紹介してきた資料は、ほんの一部です。何か不明な点がありましたら、カウンターまでお尋ねください。